




事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	地域活性化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課
		実施期間	S45頃 ~	E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標	②県民の豊かさ全国トップレベルを維持		③人口の社会増を実現		
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見		6-1 個性豊かな地域づくりの推進		

## 1 現状と課題

目指す姿	・地域住民が、自らの地域の価値を捉え直し、地域内外の多様な主体と交流・連携しながら、主体的に地域づくりに取り組むなど、自治の力を発揮しながら持続可能な暮らしが営まれている。	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が、地域の価値を捉え直し、協働による地域づくり活動等に向けた後押しをする中間支援人材（まちむら寄り添いファシリテーター）の養成研修を実施</li> <li>・地域おこし協力隊の受入や定着促進のため、市町村の募集支援や広域単位のネットワーク形成、隊員向け研修、長野県地域おこし協力隊員を令和2年度から配置して調査研究等を実施</li> <li>・特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施</li> </ul>	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍に対応しつつ、講座修了生（まちむら寄り添いファシリテーター）の活動継続と促進のため、活動機会の創出と質の向上を図る環境づくりが必要である。</li> <li>・地域おこし協力隊が地域で生業を創出し、円滑に定着するためには、地域住民や行政等との協力や協働が不可欠であるが、隊員と地域との目標のミスマッチや、サポート不足等といった課題が指摘されている。</li> <li>・人口減少、高齢世帯の増加により、自力で屋根の雪下ろし等が困難な世帯が増加し、共助による取組を進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了生のファシリテーターとしての活動プロセスの分析と共有・発信により活動のフォローアップと質の向上を図る。地域の活動に修了生が関わることへの支援を充実させ、地域に修了生の活動がより活かされるよう、多種多様な分野との連携した事業展開を図る。</li> <li>・地域おこし協力隊が地域住民や行政等と協働して地域づくりに取り組むことを促進するために必要な県の支援施策を策定するとともに、これまでの調査結果から必要と考えられる、課題を抱える市町村への中間支援を一部市町村でモデル実施する。</li> <li>・引き続き、除雪支援事業の実施を通じて大雪時における人的被害、住家被害の防止を図っていく。</li> </ul>

## 2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組（予定）	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>地域づくり活動に寄り添う中間支援人材育成及び活動支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規生と修了生がともに実践活動を行う人材育成講座を実施</li> <li>・修了生が協働する地域づくり活動の支援</li> <li>・HP等での修了生の活動プロセスや事例等の情報発信</li> <li>・修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施</li> <li>・修了生と各種コーディネーター等との交流会を開催</li> </ul> </li> <li>✓ <b>市町村地域おこし協力隊員の受入・定着を促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村協力隊員の合同募集説明会を開催</li> <li>・10地域振興局毎に協力隊のサポートネットワークを運営</li> <li>・協力隊員の活動ステージに応じた研修を開催</li> <li>・市町村隊員等の交流の場（SNS、交流会）を実施</li> <li>・県隊員によるこれまでの調査活動を総括し、必要な県支援施策を策定</li> <li>・課題を抱える市町村に対してコーディネートを行う中間支援をモデル実施</li> </ul> </li> <li>✓ <b>特別豪雪地帯での暮らしを支える克雪対策を推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等対象世帯の家屋の屋根等の除排雪、住居から生活道路までの除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施</li> </ul> </li> </ul>	 <p>まちむら寄り添いファシリテーター養成講座の様子</p>  <p>隊員向け初任者研修の様子</p>  <p>協力隊交流会の様子</p>
	DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】講義や受講生が実施する地域住民等との対話やワークショップ等の活動をオンラインを活用して実施する。</p> <p>【DX】研修・会議・募集説明会等の開催方法について、参加者の距離的制約を解消できるオンラインと、対面によって円滑に関係構築が行える現地開催を内容に応じて使い分けて実施する。</p> <p>【学びの県づくり】地域住民が参加する地域について考える対話の場を実施することにより、地域住民の自主的・主体的な地域づくりを支援する。</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	中間支援人材育成講座修了生のうち活動した者の割合	%	-	—	45.0	↑	52.0	56.0
2	市町村地域おこし協力隊員の定着率	%	77.4	↑	85.0	↓	75.0	75.0
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越	72,400	2,896,223		
当初予算	18,788	20,459	要求	21,096	
補正予算	4,983,555	0	予算案	21,134	
合計(A)	5,074,743	2,916,682	要求	21,096	
うち一般財源	23,669	19,959	予算案	21,134	
			要求	19,346	
			予算案	19,384	
決算額(B)	2,145,037				
職員数(人)	7.8	6.0		6.0	

設定理由	成果指標	1.修了生が住民や多様な主体と行う活動が、持続可能な地域づくりに資するため 2.市町村地域おこし協力隊員の任期終了後の地域への定着が、地域の活力確保に資するため
	目標値	1.修了生へのフォローアップの拡充を行うことで既存修了生及び新規修了生の活動割合を高め、56%を目標値とする。 2.しあわせ信州創造プラン2.0において、地域おこし協力隊員の定着率を令和4年度まで毎年度75.0%以上とすることが目標であるため。

予算要求からの主な変更点	全国過疎地域連盟負担金を増額
--------------	----------------

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域活性化推進事業費			部局	企画振興部	課・室	地域振興課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
1	地域における学びと自治の場づくり促進事業	4,110 千円	2,452 千円	要求 予算案	3,500 3,500 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	中間支援人材の活動に対するフォロー研修等の開催	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規生と修了生がともに実践活動を行う人材育成講座を実施</li> <li>・修了生が協働する地域づくり活動の支援</li> <li>・HP等での修了生の活動プロセスや事例等の情報発信</li> <li>・修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施</li> <li>・修了生と各種コーディネーター等との交流会を開催</li> </ul>			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
2	地域おこし協力隊 受入・活躍支援事業	4,614 千円	4,590 千円	要求 予算案	4,590 4,590 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	市町村地域おこし協力隊員の受入・活躍の支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村地域おこし協力隊員の合同募集説明会を開催</li> <li>・市町村地域おこし協力隊員・隊員OBOG・行政職員からなるサポートネットワーク(10地域振興局)における情報共有を実施</li> <li>・市町村地域おこし協力隊員の活動ステージに応じた研修を実施</li> </ul>			
2	長野県地域おこし協力隊員の配置	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度から配置している長野県地域おこし協力隊員によるこれまでの調査活動を総括し、必要な県支援施策を検討・策定</li> <li>・市町村隊員等の交流の場(SNS、交流会)を実施</li> <li>・隊員の受入体制等に課題を抱える市町村に対し、県隊員や有識者等を派遣してコーディネートを行う中間支援を一部市町村でモデル実施</li> </ul>			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
3	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業	6,402 千円	6,082 千円	要求 予算案	5,777 5,777 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業補助金	補助金	特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者(住宅除雪支援員)の派遣に要する経費に対する補助を実施			

事業番号	02 08 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域活性化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
4	地域づくり活動推進事業	3,512 千円	7,235 千円	要求 予算案	7,229 7,267 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	地域づくりネットワーク負担金	負担金	地域づくりネットワーク長野県協議会に対し、負担金を支出 【団体概要】 地域づくりの自主的・主体的な活動のすそ野を広げるため、地域づくり団体への情報提供、地域づくり団体相互の交流の促進等を実施
2	(一財)地域活性化センター運営負担金	負担金	一般財団法人地域活性化センターに対し、負担金を支出 【団体概要】 活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため、まちづくり、地域産業おこし、地域社会活性化の諸活動への支援等、地域振興の推進に寄与する各種事業を実施
3	全国過疎地域連盟負担金	負担金	全国過疎地域連盟に対し、負担金を支出 【団体概要】 全国の過疎地域が連携して過疎対策事業の充実強化を図るため、過疎対策に係る調査・研究や政府予算・施策への要望活動、自治体間の情報交換等を実施
4	全国山村振興連盟負担金	負担金	全国山村振興連盟に対し、負担金を支出 【団体概要】 全国における山村地域振興のため、関係者相互の緊密な連携・提携を図り、山村振興政策に係る政府予算・施策への要望活動や実務者研修会等を開催
5	全国積雪寒冷地帯振興協議会負担金	負担金	全国積雪寒冷地帯振興協議会に対し、負担金を支出 【団体概要】 積雪寒冷地帯の道府県、市町村が緊密に連携し、大規模豪雪災害や関係基本法制度の見直しに対する要望活動、会員相互及び関係機関との情報交換等を実施
6	その他地域活性化推進経費	直接	職員の旅費、事務消耗品等